

①-1 火葬設備等保守点検業務仕様書(北斎場)

設備基数表

設 備 概 要		
A. 火葬炉設備		
1. 火葬炉	台車式火葬炉	20基
2. 棺台車		20台
3. 断熱扉		20枚
4. 再燃焼炉		20基
5. 燃焼装置	火葬炉用バーナ	20台
	再燃焼炉用バーナ	20台
	2次再燃焼炉用バーナ	20台
	燃焼ブロワ	20台
	冷却室押込ファン	10基
6. 電動式自走台車		20台
B. 火葬炉付帯設備		
1. 空気圧縮機		7台
2. 空気槽		7基
3. 排ガス分析計		2台
C. 集塵設備		
1. 減温室	空気冷却式	20基
2. マルチサイクロン	灰出し装置	
	マルチサイクロンダスト搬出スクリュウコンベア	10基
	マルチサイクロンダストフライトコンベア(ケースコンベア)	2基
3. バグフィルタ	灰だし装置	
	ロータリーバルブ	10基
	バグフィルターダスト搬出スクリュウコンベア	10基
	バグフィルターダストフライトコンベア(ケースコンベア)	2基
4. 通風装置	誘引ファン 55kw	10基
5. 破碎機		1基
6. 真空掃除装置		2基
7. 煙 道		2系統
D. 共通項目		1式

※年間の点検周期については、別表に示すとおりとする。なお、火葬炉改修工事等により点検が実施できない場合は、本市担当者に報告し、その指示を受けること。

A. 火葬炉設備

北 1/7

点検項目	周期	年間点検回数	点検及び保守内容
1. 火葬炉			
1) ケーシング	1Y	1	腐食、変形及び燃焼ガス漏れの有無を点検する。
2) 炉内・煙道	6M	2	耐火レンガ及びキャストブルの破損、脱落の有無の点検及び堆積灰の除去を行う。
3) 熱電対	6M	2	外装の破損、変形の有無を点検し清掃する。
4) 台車レール	3M	4	破損、変形、磨耗の有無を点検する。
5) 火葬炉操作盤 20面	2M	6	①盤内機器の取付けの良否並びに過熱、変色及び異臭の有無を点検する。 ②端子の変色、発錆、汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ③表示灯の点灯及び警報器の発報の良否を点検する。 ④盤面通気フィルタの清掃を行なう。 ⑤各負荷絶縁抵抗測定(マグネットの2次側を測定する。)
	1Y	1	
2. 棺台車			
1) ブロック	2M	6	破損、変形、磨耗の有無を点検する。
2) フレーム (車輪含む)	6M	2	破損、変形、磨耗の有無を点検する。
3. 断熱扉			
1) 扉	1Y	1	①フレームの破損、変形、焼損の有無を点検する。 ②キャストブルの破損、脱落の有無を点検する。
2) 昇降装置	3M	4	①異音の有無を点検する。 ②動作の良否とリミットスイッチレバーの変形等の有無を点検する。
4. 再燃焼炉			
1) ケーシング	1Y	1	破損、変形、焼損の有無を点検する。
2) 炉内	6M	2	耐火レンガ、スリーブレンガ(1次再燃焼炉)及びキャストブルの破損、脱落の有無の点検及び堆積灰の除去を行う。
3) 煙道	6M	2	耐火レンガ及びキャストブルの破損、脱落の有無の点検及び灰の堆積の除去を行う。
4) 熱電対	6M	2	外装の破損、変形の有無を点検し清掃する。

点検項目	周期	年間 点検回数	点検及び保守内容
5. 燃焼装置			
1) バーナ本体	2M	6	①炎口部に付着した煤、カーボン、未燃分等の汚れを清掃する。 ②点火及び消火の良否を点検する。不良の場合は調整する。 ③炎の色、形状及び燃焼音等の燃焼状態の良否を点検する。燃焼不良の場合は調整する。 ④ノズル等の焼損、変形、割れ等の有無を点検する。
2) 火炎検出器	2M	6	煤、油滴付着、焼損及び保護ガラスの亀裂の有無の点検及び汚れ部分の掃除を行う。
3) 電磁弁	2M	6	作動の良否及びガス漏れの有無を点検する。 なお、動作不良の場合は、清掃又は調整すること。
4) ガス緊急遮断弁及び均圧弁	2M	6	遮断状態の良否を点検する。
5) ガス配管	2M	6	ガス漏れの有無を点検する。漏れがある場合は増締め、ガスケット交換又はシール材を巻き直しする。
6) コントロールモータ	1Y	1	作動の良否及び異音の有無を点検する。作動不良の場合は調整する。
7) チルティング装置	6M	2	作動の良否及び異音の有無を点検する。作動不良の場合は調整する。
8) ブロワ	2M	6	①運転(空気圧力含む)の良否及び振動、異音の有無を点検する。 なお、動作不良の場合は、清掃又は調整すること。 ②フィルターの汚れの良否を点検する。
6. 電動式自走台車			
1) 本体	1Y	1	破損、変形の有無を点検する。破損、変形が軽微の場合は補修する。
2) 走行装置	2M	6	作動の良否及び異音の有無を点検する。作動不良の場合は調整する。

点検項目	周期	年間点検回数	点検及び保守内容
1. 空気圧縮機	2M	6	①圧力の異常、異音の有無を点検する。圧力異常の場合は調整する。 ②潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。 ③本体及び配管の空気漏れの有無を点検する ④外気吸気フィルタの清掃を行う。 ⑤運転稼動時間の記録を行なう。
2. 空気槽	1Y 2M	1 6	①本体の損傷の有無を点検する。 ②ふたの締付けボルトの磨耗の有無を点検する。 ③管及び弁の損傷の有無を点検する。 ④オートドレントラップ動作の良否点検を行なう。
3. 排ガス分析計 4成分 O ₂ 、CO、Nox、Sox	2M	6	①手動にて校正を行う、 ②サンプリング配管の漏れ、汚れ、詰まり等の有無を点検する。 ③各フィルタの良否を点検する。 ④装置各部の良否を点検及び調整を行う。 ⑤各校正ガスボンベの残圧を記録する。

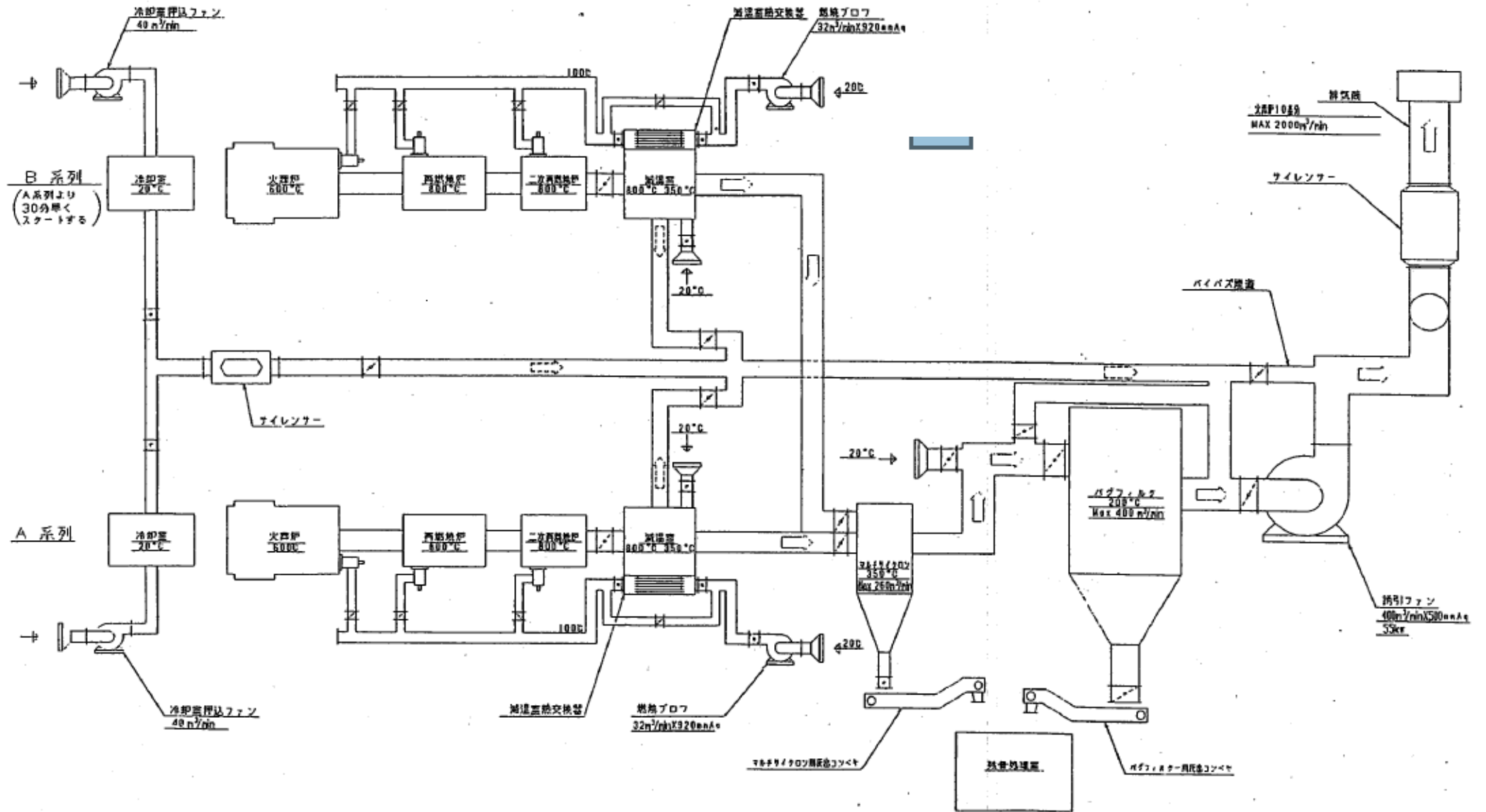
点検項目	周期	年間点検回数	点検及び保守内容
1. 減温室 1)内 部	6M	2	耐火レンガ及びキャストブルの破損、脱落の有無の点検及び堆積灰の除去を行う。なお、破損及び焼損が軽微な場合は補修すること。
2)熱交換器	6M	2	①熱交換器の腐食、磨耗の有無を点検する。 ②伝熱管外部の清掃を行なう。
2. マルチサイクロン 1)本体内部 (ホップ含む)	1Y	1	①旋回羽根磨耗、損傷の有無の点検及び堆積灰の除去を行う。 ②音及び振動の異常の有無を点検する。
2)灰だし装置 (1)スクリー コンベア	6M	2	スクリー刃の磨耗、損傷の有無の点検及び付着灰の除去を行う。
(2)ケース コンベア	6M	2	スクレーパ、チェーン、レールの磨耗、損傷の有無の点検及び動作時の異音の有無を点検し堆積灰の除去を行う。
(3)軸 受	3M	4	①発熱、異音、振動の有無を点検する。 ②グリスの給脂を行う。
(4)減速機 (モータ含む)	3M	4	①発熱、異音、油漏れの有無を点検する。 ②潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。
3. バグフィルタ 1)内 部 (1)トップ内部	1Y	1	ダスト吹抜け、内部腐食、ドアパッキン損傷の有無を点検する。
(2)ホップ内部	1Y	1	腐食の有無を点検及び堆積灰の除去を行う。
(3)ろ 布	1Y	1	①点検前にエアパルスを十分に行う。 ②1本を新品(予備品)に交換し、性状試験を行う。 (試験項目:引張強度、伸び率、通気性、顕微鏡観察「断面、内面、外面」)
2)逆洗装置	3M	4	①制御弁動作点検及びエア漏れ等異常の有無を点検する。 ②ドレンセパレータの異常の有無を点検する。
3)ホップヒータ	3M	4	ヒータ動作の良否の点検をする。

点検項目	周期	年間 点検回数	点検及び保守内容
4)灰だし装置 (1)ロータリ バルブ	6M	2	①動作時の異音の有無を点検する。 ②付着灰の除去を行う。
(2)スクリー コンベア	6M	2	①スクリー刃の磨耗、損傷の有無の点検及び動作時の異音の有無を点検する。 ②付着及び堆積灰の除去を行う。
(3)ケース コンベア	6M	2	①スクレーパ、チェーン、レールの磨耗、損傷の有無の点検及び動作時の異音の有無を点検する。 ②付着及び堆積灰の除去を行う。
(4)軸 受	3M	4	①発熱、異音、振動の有無を点検する。 ②グリスの給脂を行う。
(5)減速機 (モータ含む)	3M	4	①発熱、異音、油漏れの有無を点検する。 ②潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。
4. 誘引ファン 1)電動機	3M	4	①発熱、異音、振動の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを点検する。 ③電流値を計器盤で、定格値内であることを点検する。 ④グリスの給脂を行なう。
2)インペラ	1Y	1	①腐食、摩耗、損傷の有無を点検する。 ②付着灰の除去を行う。
3)軸受 ・継手部	3M	4	①ボルトの緩み、発熱、異音、振動の有無を点検する。 ②グリスの給脂を行う。
4)Vベルト ・プーリ	3M	4	①弛み、磨耗、損傷の有無を点検及び張り調整を行なう。 ②磨耗、損傷、劣化の有無を点検する。

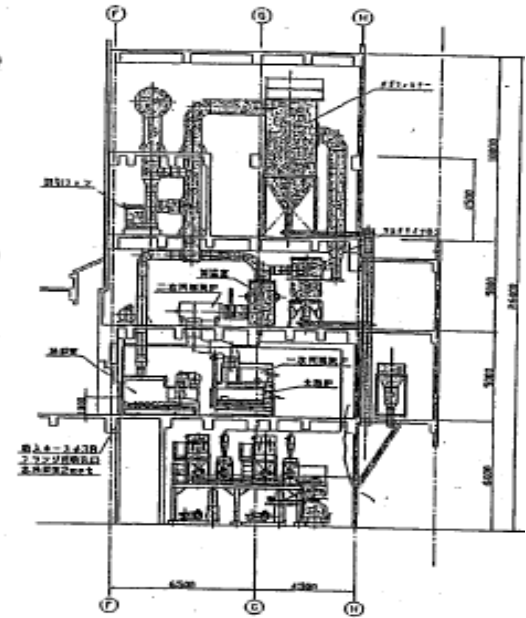
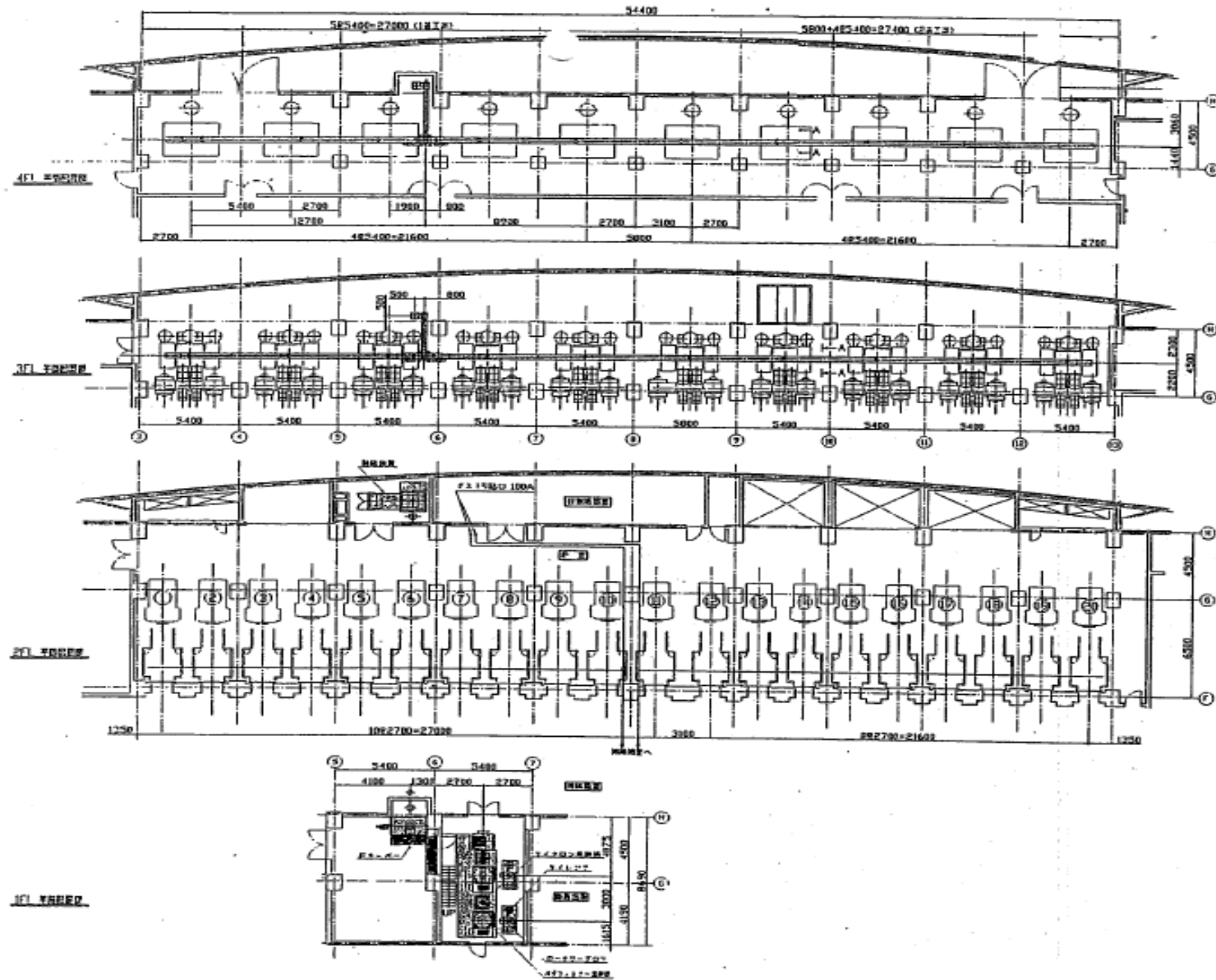
点検項目	周期	年間 点検回数	点検及び保守内容
5. 破碎機			
1) カッティング ローラ及び 粉碎機	6M	2	磨耗、損傷の有無及び動作時の異音の有無を点検する。
2) ウインチ ・ワイヤ	6M	2	ウインチ及びワイヤの異常の有無を点検する。
3) 軸受部	3M	4	①異音、発熱、振動の有無を点検する。 ②グリスの給脂を行なう。
4) 減速機 (モータ含む)	3M	4	①異音、発熱、振動の有無を点検する。 ②潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。
6. 真空掃除装置			
1) ロータリブロワ	3M	4	①異音、発熱、振動の有無を点検する。 ②負圧力の良否、電流値が定格であるか点検する。 ③潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。
2) Vベルト ・プーリ			①弛み、摩耗、損傷の有無を点検及び張り調整を行う。 ②摩耗、損傷の有無を点検する。
3) サイクロン	3M	4	①旋回羽根摩耗、損傷の有無の点検及び堆積灰の除去を行う。 ②音、振動の異常の有無を点検する。
4) バグフィルタ	3M	4	①摩耗、破損の有無を点検する。 ②フィルタの清掃を行う。 ③エレメントの閉塞の有無を点検する。
5) コンベア ケース	3M	4	①異音、振動の有無を点検する。 ②搬送チェーン、レールの磨耗、損傷の有無の点検及び動作時の異音の有無を点検する。
6) 減速機 (モータ含む)			①異音、発熱、振動の有無を点検する。 ②潤滑油の良否を点検する。油量が少ない場合は補充する。
7) 灰受ホッパ (ゲートバルブ含)	6M	2	①ゲートバルブ駆動部の動作を点検する。 ②付着及び堆積灰の除去を行う。
7. 煙道			
1) 連絡煙道	6M	2	煙道内面の腐食、損傷及び排ガス漏れの有無を点検する。
2) 煙突	6M	2	①腐食、損傷の有無を点検する。 ②筒身下部水封装置の動作点検する。(東側) ③各炉からの集合煙道部の堆積物を除去する。
3) ダンパ (空気制御 ダンパ含む)	6M	2	①動作の良否を点検する。 ②駆動用空気ドレンセパレータの異常の有無を点検する。

点検項目	周期	年間 点検回数	点検及び保守内容
1) 基礎	1Y	1	①亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ②ボルトの緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ③防振材の異常の有無を目視する。
2) 外観状況 (1) ケーシング	1Y	1	腐食、損傷及び排ガス漏れの有無を点検する。
(2) 保温材	1Y	1	損傷の有無を点検する。
3) 操作盤 ・集塵装置操作盤 10面 ・非常電源切替 共通盤 1面 ・共通灰出コンベ ア操作盤 1面 ・バグフィルタ操作 盤 10面 ・真空掃除機 操作盤 2面 ・火葬用コンプレ ッサ盤 2面 ・バグフィルタ用 コンプレッサ電 源盤 4面	3M 1Y	4 1	①盤内機器の取付けの良否並びに過熱、変色及び異臭の有無を点検する。 ②端子の変色、発錆、汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ③表示灯の点灯及び警報器の発報の良否を点検する。 各負荷絶縁抵抗測定(マグネットの2次側を測定する。)

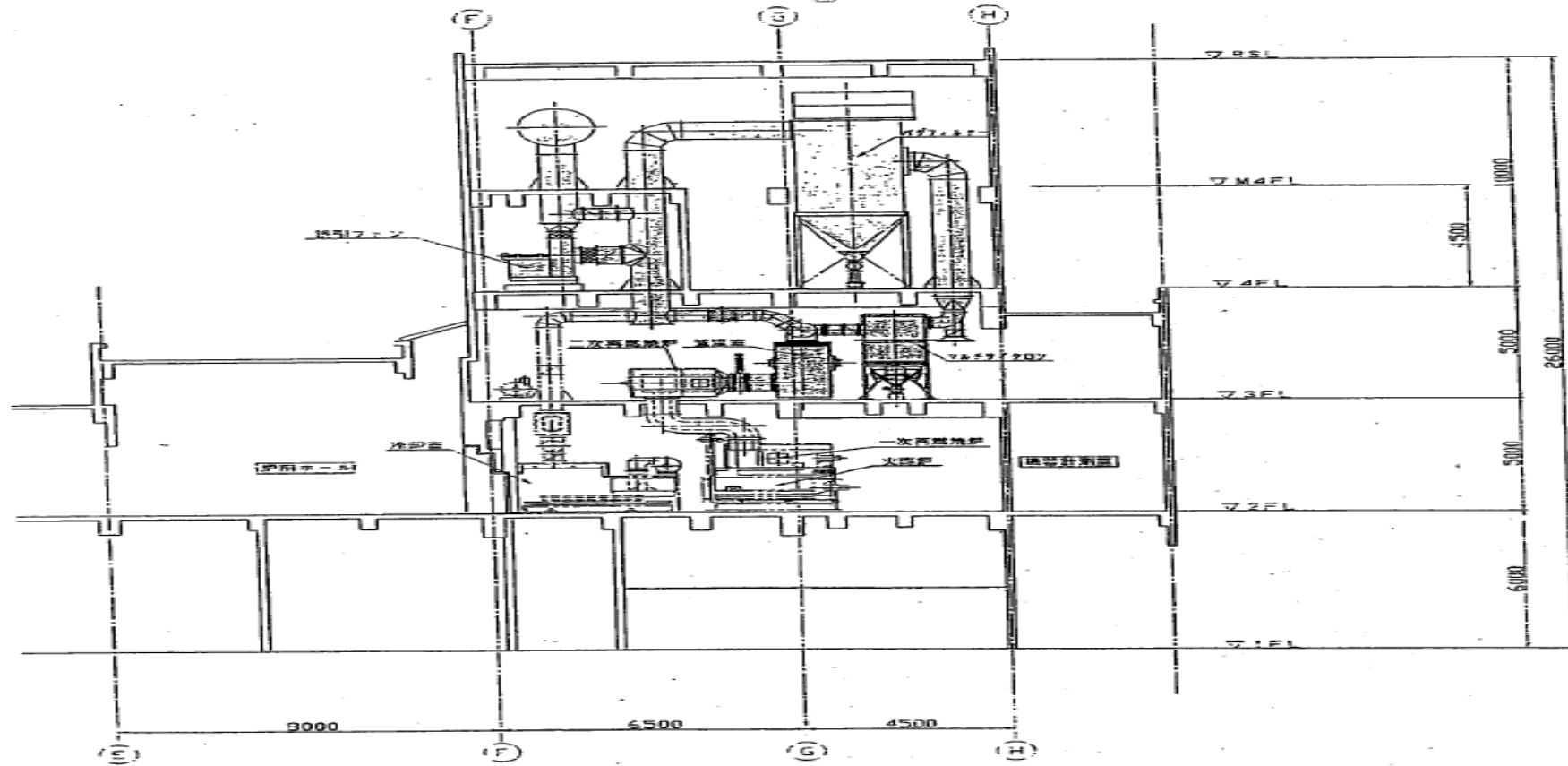
①-2 北斎場図面等



北斎場 火葬設備フローシート



北斎場 火葬設備平面詳細図



北斎場 火葬設備横断面図